

会派代表質問

Q & A

会派代表質問を行いました

3月6日に、会派を代表して行う「代表質問」を行いました。「創世会」「アクティブマネジメント・公明クラブ」「共に創る掛川」の3会派の代表議員が、市長の施政方針、新年度予算に関して質問しました。

※代表質問は、2人以上の所属議員を有する会派に限り、質問できます。

創世会



質問者

二村 禮一

東京女子医科大学での リカレント教育は

Q 東京女子医科大学との連携による医療関係者のスキルアップと教育による医療技術の向上への取り組みについて伺う。

A リカレント教育を活用し地域医療の質を高める

Q 東京女子医科大学掛川キャンパスでは、様々な専門職向けの講座が計画されています。掛川市でスキルを身につけた専門職が地域で活躍していけるよう、周辺病院などの関係機関と連携を図っていきます。また、今後も東京女子医科大学と連携を深めていきます。

公共施設マネジメントの 推進による子どもたちの 未来は

Q 教育施設の再編が必要不可欠であるが、計画の実現が子どもたちの教育及び市域の在り方にとってどのような未来になるのか伺う。

感性豊かな心と体が育まれる

A 未来の教育の実現には、義務教育の在り方を進化させた小中一貫教育の推進が重要です。子どもたちが切磋琢磨し、多様な価値観にふれながら学ぶとともに、これまでの学園化構想の成果を十分に生かせる環境を整え、**「知」を育む世界観**が大きく変わり、**感性豊かな心と体が育まれ**、21世紀の明るい未来・社会に導かれるものと確信しています。

新型コロナウイルスの 感染症対策は

Q 新型コロナウイルスの感染拡大防止や地域経済等への影響を最小限にするための迅速かつ適切な対応について伺う。

A 国や県の動向を見ながら対策本部会議で方針を決定する

Q 対策本部会議で、掛川市の対応方針を決定しています。市内小中学校は、臨時休校とし、市主催のイベントは、中止、延期するなどの対応を行っています。また、経済の下支えのため、事業者への資金繰り支援など、国や県の支援策の動向を踏まえ、必要な施策を進めていきます。

【その他の質問事項】

・大規模化する自然災害への備えについて
・高齢者の事故対策について